

## 第5回地球流体夏のセミナーの御案内

既に5月号で上記セミナーのお知らせをいたしました  
が、主題に関しては、昨年セミナー出席者に対してお  
こなったアンケート結果によりますと、「ソリトン」、  
「渦」、「非線形波動」等を主題として希望するものが比  
較的多かったように思います。過去のテーマが、「中規  
模渦」、「臨界層」、「解の多重性」、「二次元乱流」であ  
ったことをも鑑みて、今年度の主題は、地球流体における  
「非線形波動」といたしました。

周知のように、非線形波動は自然科学において近年最  
も進展をみせた分野の一つです。その発生過程におい  
て、「ソリトン」というような概念も生まれてきた訳で  
す。最近の非線形波動の研究は、特に二つの数学的手法  
の発展を促したように思われます。一つは特異摂動論  
です。これにより弱非線形波動のふるまいを記述する  
Korteweg de Vries 方程式、非線形 Schrödinger 方程式  
などの多くの非線形方程式系を、我々は充分に納得のい  
くやり方で導出することができるようになりました。も  
う一つは、このようにして導出された比較的シンプルな  
非線形方程式を“厳密”に解く方法です。これは、非線  
形方程式系（当然ある限定されたクラスを対象としてい  
るが）の厳密解を得る“組織的”な方法を提出したとい  
う点において驚異的です。

現在では、自然科学の多くの分野において、このよう  
な数学的手法が応用されており、諸現象の解明に成功し

ております。今年度の「夏のセミナー」では、この傾向  
が地球流体力学の分野でいかに反映されているかを知る  
ことができるでしょう。ただし、地球流体で我々が対象  
とする系は、理論物理学者や応用数学者が対象としてき  
た系に比べてずっと複雑であり、一筋縄では行きそうに  
ありません。なるべく多くの方々がこのセミナーに参加  
され活発な討論を通じて、問題点の発掘や将来の見通し  
について寄与されることを望みます。

セミナーのプログラムは5月号に掲載した通りです。  
今回は、予算の都合で残念ながら参加費の補助はできそ  
うにありません。また、宿泊に関しましては、7月1日  
以降の取り消しはできませんので御了承願います。  
また、8月2日の午後に自由時間を用意致しておりま  
す。テニスコート、レンタサイクル等ありますので、ス  
ポーツや散策をお楽しみ下さい。

コンビーナー 井上良紀（阪大・基礎工）

今脇資郎（京大・理）

事務局 〒606 京都市左京区吉田二本松町  
京都大学教養部地学教室

酒井 敏

TEL. 075-751-2111

内線 6865

## 月例会「大気数値シミュレーション」(第6回)のプログラム

今回は、中規模スケールの気象現象をテーマにして、  
下記のプログラムにより開催します。

日 時：1984年8月31日（金）13時30分

場 所：東大海洋研究所講堂

講演題目：

1. 吉崎正憲（東大海洋研）：熱帯スコールラインの数  
値実験
2. 永田 雅（気研・予報）：日本海側の降雪の数値シ  
ミュレーション

1984年6月

3. 三浦信男（気象庁・電計）：微格子モデルを用いた  
1983年台風10号の予報実験

なお、次回の月例会のテーマを講演終了後討論します  
ので、御意見を御願います。また、懇親会を予定して  
いますので、多くのみなさんの参加を希望します。

連絡先 東大海洋研 吉崎正憲

TEL. (03) 376-1251 内線 277

住所 東京都中野区南台 1-15-1